

令和 6 年度 沖縄県特別支援教育研究会 総会・記念講演 記録（2024.7.26）

議題	補足・追加等	決議
①役員の承認(P4-5)	司会より) 議決方法については、来場者は挙手にて決議、zoom 参加の皆さんは投票機能を活用して決議を取る。時間の都合上質疑の時間が確保できない場合は、会の終了後アンケートを採りますので、そちらに いただき、後日回答したいと思います。 補足) 4, 5 ページ。小中学校特別支援学級設置校、特別支援学校合わせて計78名の役員の先生方に名前を挙げていただいた。昨年度評議委員会等の決議より、本年度より、それぞれ独立していた那覇地区小学校、浦添地区小学校、那覇浦添地区中学校特別支援教育研究会が那覇・浦添地区に統合。	●オンライン参加者 38名 ※1端末につき複数名視聴含む ●来校者 51名 ●委任 5名(報告あり) 計94名 ①賛成 21/反対 0 投票率 100%
②昨年度の事業・会計報告(P6-9)	補足) 6 ページ。昨年はアフターコロナとして、参集型を基本とし実施。事業内容によっては、適宜、オンラインを活用し開催。ご理解・ご協力ありがとうございました。 研究会運営については課題が山積していますが、各事業で建設的な意見をいただき、研究会のあり方や予算について考える機会となりました。	②賛成 21/反対 0 投票率 100%
③今年度の事業計画および予算・会計案(P10-15)	補足) 8 ページ。Ⅰの一般会計、収入の部沖特連、九特連、全特連の分担金と12月の研究大会参加費、繰り越し金の科目があり、合計が140万653円。続いて支出の部は、7つの科目に加え、全特連、沖特連の負担金、予備費、積み立て費の計11の科目があります。決算額は、93万4556円。R5 最終報告差引残高46万6097円。Ⅱは九特連大会積み立て金。R5 までの合計は、169 万 896 円。次ページ。会計監査報告。 10 ページより、事務局より事業計画。本日 7 月 26 日が R6 年度総会・記念講演。年に 3 回役員が対象の評議委員会・研修会があり、それとは別に 11 月に研究大会分科会関係者会が予定されている。各支部提案や係となっている先生方の参加。案内文、依頼文はその都度送付する。次の研修会について琉球大学教職大学院准教授城間園子先生を講師し、主に、就学支援についてのご講話をいただく予定。昨年度同様、参集型を基本としながら、事業によっては適宜オンライン活用開催とする。開催方法等、確認しながらご参加下さい。8 月 2 日には、九特連佐賀大会、11 月には全特連福井大会が予定されている。九特連大会申込は終了したが、全特連申込は受付中ですので、後日周知できるようにします。 本年度の沖特研研究大会については、12 月 13 日金曜日、名護特別支援学校にて行う。本大会は参加費の徴収があることから、原則参集型で行い、後日参加者への一部オンデマンド配信	③賛成 20/反対 1 投票率 100% 無回答は委任と見なすため 可決

	を予定。 11ページ。一般会計、収入の部。沖特研、全特連、九特連の分担金と、12月の研究大会参加費、繰り越し金の科目があり、予算額は126万8247円。なお、学級数は、R6年度4月時点御もので試算。支出の部は7つの科目に加え、全特連、九特連、予備費、積み立て費の計11の科目。全特連、九特連の負担金に関しては、学級数をR6.4月時点で試算。学級数変更の場合は、予備費より調整。予算額126万8247円。Ⅱは九特連積立金。本年度の積立金を合わせると、169万903円。 12ページ。会計。沖特連、九特連の会計に関する確認事項4点。①分担金徴収日程。R3に学級数を自己申告に変更して、5月に納入依頼を発送。9月下旬に次年度分担金予算計上依頼公文を、各市町村教育委員会と各学校あてに発送予定。 ②沖特研旅費。R3年度より、本島内の出張について、研究会からの旅費を支給していません。昨年度の総会で確認済み。第1回の案内の際に、学校割りあて旅費からの支給依頼の文書を発送済み③九特連予算。R4繰越金に加え、各県からの負担金と、全特連からの補助金もあり、次回7年後の運営をまかなえるだけの積み立てができていることから、昨年度より、積み立て金を千円に減額。④今年度の研究大会の参加費について。原則対面での開催であり、その際の参加費を500円としている。積立金の見直しや、13ページにあるように、旅費支出対象者の精選等を行うことで、大会参会費を半額に減額しても、次年度以降、継続的にまかなえる見通しが立ったため。14ページ。6月20日時点納入状況。全体の69%の納入確認。 質問) 質疑なし。決議にうつる。投票から一分または過半数を超えたら進める。 議題1～3で反対の方は挙手。 賛成が過半数を超えているので、議題1～3は可決し、承認とする。	
④沖特研研究大会について(P16-32)	補足) ※zoom 一部通信不具合あり。復活し再開。 16ページ議題④研究大会一次案内。原則参集型。後日一部オンデマンド配信。記念講演講師：綿貫愛子先生。詳細が決まり次第2次案内をだす。研修受講履歴対象研修。 17ページより。第③分会の合わせた指導のテーマの内容の幅を広げている。第⑦分科会は、事務局独自の設定。今年度は特別支援学級における就学支援に関すること。 18ページ提案割り当て。議決済み。網掛け支部が、九特連、全特連の発表割り当て支部。令和	④-1 賛成 23 / 反対 0 投票率 100% ④-2 賛成 23 / 反対 0

	11 年度以降の割り当て支部に関しては、次年度、次の事務局校より提案。 19ページ。今年度の研究大会、分科会役割分担。表の下で作成要領と、過去の割り当てを参考に、全支部できるだけ均等になるように設定。北部地区開催のため、国頭地区の係割り当てが若干数多い。第7分科会の提案者は事務局が選出、依頼、係など行う。8月下旬から9月上旬をめどに、氏名報告、事例提出など行う。 20ページ。分科会の持ち方について。18ページの議決済みの割り当てを活用。様式例 23-26 ページ。従来の様式に比べ簡略化している。一人で3つと言うことではなく、提案者の実践を含め、各地区や学校、学部内でテーマに沿った事例を3つ。参加者にも事例や悩みなどを持ち寄るように呼びかける。 質問) 挙手なし。会場より反対があれば挙手→なし。 司会より) 議題④-4、反対 13%あるが、過半数賛成のため可決。今年度実施し、反省を受け改善していく。	投票率 100% ④-3 賛成 21 / 反対 0 投票率 91% ④-4 賛成 7 / 反対 1 投票率 35% 無回答は委任と見なすため 可決
⑤九特連・全特連について(P33-34)	補足) 議題⑤九特連研究大会佐賀大会について。旅費は今年度県が予算を確保し、支出。次年度九特連長崎大会8月開催。第5分科会「自立活動」提案者:八重山地区中学校。第6分科会「交流及び共同学習」南風原高等支援学校。派遣費に関して県でも予算を立てることが難しくなっていること、県立においては、提案や運営に割り当てられている学校は、専門性向上事業で優先順位上位として申請すること、等を県立学校教育課より仰せつかっています。市町村においては、発表を割り当てられている支部長で、各教育事務所に予算の確保の申請をお願いします。現時点では、必ずしも予算が確保できるという確約ができかねますので、支部での予算工面の調整もよろしくお願いします。事務局でも、県立学校教育課、義務教育課との協議を引き続き重ねていくとともに、今後は、沖特研の中でも、分担金や研修参加費の見直しなどの協議が必要になってくと思う。 全特連福井大会の2次案内。来週送付、HP掲載する。 質問) 質問なし。会場の反対、挙手なし。 回答)	⑤賛成 23 / 反対 0 投票率 100% 無回答は委任と見なすため 可決
連絡事項 沖特研九特連事務局輪番の確認 研究大会に向けたスケジュール 全特連功労者推薦について	補足) 35 ページ沖特研、九特連事務局輪番表。次年度は美咲特支。 36 ページ。R6 年度城間政次先生を提案。 研究大会に向けてのスケジュール、9月中旬係り氏名報告メ切り。10月報告書メ切り。提案者	

	へ声かけをお願いします。 質問) 挙手なし。	
--	--------------------------------------	--